

2023年5月16日
イオン琉球株式会社

～世界自然遺産登録 西表島の海をキレイに～ ビーチクリーンアップ大作戦 in 中野海岸

西表エコプロジェクト・イオン環境財団・イオン琉球・早稲田大学が協同実施

イオン琉球株式会社（本社：南風原町、代表取締役社長：鯉淵豊太郎）は、「イオン ハートフル・ボランティア」の一環として、5月21日（日）午前9時40分より、西表島にある中野海岸で「ビーチクリーンアップ大作戦 in 中野海岸」の清掃活動を行います。

イオンでは、新しい社会貢献活動の取り組みとして、これまで以上に従業員が地域に根ざした活動をステークホルダーの皆さまと共に推進する「イオン ハートフル・ボランティア」を2022年からスタートしております。

本活動は、漂着ゴミをはじめ、サンゴ礁の保全や赤土流出防止など、海岸環境の保全のため、公益財団法人イオン環境財団とイオン琉球、早稲田大学 AEON TOWA リサーチセンター^{*1}と八重山環境ネットワーク 環境ボランティア西表エコプロジェクト^{*2}が協同で行うもので、竹富町にご協力をいただき実施します。当日は約100名が参加し、世界自然遺産登録された西表島に大量に流れつく漂着ごみを回収し、ごみのモニタリング調査など西表島で定期的に行われている「ビーチクリーンアップ大作戦」^{*3}にならない地域の皆さまとともに海岸清掃を行います。



イオン ハートフル・ボランティア①大宜味村のビーチクリーン②糸満市のグリーンベルト植栽

これからもイオン環境財団とイオン琉球は沖縄の美ら島・美ら海を次世代につなげていくため環境保全活動を推進してまいります。

記

《ビーチクリーンアップ大作戦 in 中野海岸 実施概要》

1. 日時 : 2023年5月21日（日）9:40～12:00
2. 場所 : 沖縄県竹富町上原 中野海岸 中野わいわいホール集合
3. 参加者 : 竹富町関係者、西表エコプロジェクトの皆さま、地域ボランティア、イオングループ従業員とその家族、石垣地区黄色いレシートキャンペーン登録団体（石垣市社会福祉協議会、八重山環境ネットワーク）約100名
4. 内容 : 中野海岸清掃、漂着ごみ調査
5. 主催 : イオン琉球株式会社、公益財団法人イオン環境財団
6. 共催 : 環境ボランティア西表エコプロジェクト
早稲田大学 AEON TOWA リサーチセンター
7. 後援 : 竹富町

以上

【開会式について】

日時 : 2023年5月21日(日) 9:40~10:00

場所 : 中野わいわいホール(沖縄県八重山郡竹富町上原10)

次第 : 開会

主催者あいさつ : 公益財団法人イオン環境財団 事務局次長 西原謙策
イオン琉球株式会社 代表取締役社長 鯉淵豊太郎

来賓あいさつ 竹富町 町長 前泊正人さま

活動内容説明 : 西表エコプロジェクト 代表 森本孝房さま

開会式終了

- ※1 : 公益財団法人イオン環境財団(理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役代表執行役会長)と早稲田大学(総長 田中 愛治)が、時代に即した環境課題の解決を目指すため「AEON TOWAリサーチセンター」を設立。当リサーチセンターは、双方のこれまでの経験や知見、学術研究を結合し、環境をはじめとした地域課題対応や人材育成など新たな価値を創造することで、持続可能な社会の実現をめざしていくものです。
- ※2 : 「八重山環境ネットワーク」は平成14年に海岸環境の保全を目的に発足。漂着ゴミをはじめ、サンゴ礁の保全や赤土流出など、海岸環境の保全に関わる行政や団体・個人が集まり、活動を開始し、ここに所属する西表島在住のメンバーが西表島での活動を自発的にはじめたのが「西表エコプロジェクト」です。
- ※3 : ビーチクリーンアップ大作戦は、沖縄県の海岸漂着物地域対策推進事業として環境ボランティア西表エコプロジェクトが主催し、NPO法人西表島エコツーリズム協会後援のもと定期的に海岸漂着ごみを回収しています。
西表島の漂着ゴミの状況をモニタリングすることにより、漂着物の量や質の変化を把握し情報発信する。また、これらの調査を住民参加のワークショップとして実施することにより、循環型社会の構築に主体的に参加する人材の育成に寄与することを目的としています。

～ご参考～

■ 「イオン ハートフル・ボランティア」について

イオンは、新しい社会貢献活動の取り組みとして「イオン ハートフル・ボランティア」を2022年度よりスタートし、それぞれの地域に存在する社会課題の解決へ向けて、イオンの従業員が地域のステークホルダーの皆さまと共に、地域に根ざした継続的なボランティア活動を推進しています。気候変動、資源の枯渇などの環境課題や、少子高齢化による労働力人口の減少、地域コミュニティの衰退といった社会課題など、かつてないほどのスピードで様々な課題が広がりを見せています。その中で、イオンは、従来までの社会貢献の取り組みを更にブラッシュアップし、それぞれの事業活動を行う地域で、持続可能な地域社会の実現に向け、従業員自らが地域の社会課題解決の支援を推進してまいります。沖縄エリアでは昨年6月、沖縄県北部の豊かな自然環境を守るため、やんばる国立公園の入り口でもある大宜見村の“道の駅おおぎみ”付近の海岸で、軽石や漂着するプラスチックごみを除去する清掃活動を行いました。

また、11月には沖縄の深刻な環境問題である赤土等の流出から海を守るボランティア活動として糸満市で「グリーンベルト」の植栽を実施しました。